

ONSEN・ガストロノミーツーリズムの紹介



株式会社ANA総合研究所
取締役会長

一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構
専務理事

小川 正人

ANA Inspiration of JAPAN

2018年5月25日

ガストロノミー・ツーリズムとは…

地域に根ざした食、その背景にある地域の自然や歴史等の魅力に触れることそのものを目的としたツーリズムとして、欧米を中心に世界各国で多くの取組がなされているもの。国連の推奨する地域社会の持続可能な発展、雇用の促進を果たすうえで重要な役割を担っている。

日本におけるガストロノミー・ツーリズムについて

我が国では、公益社団法人日本観光振興協会が国連世界観光機関と業務提携を行い、ガストロノミー・ツーリズムによる地域交流・物産の流通の活性化が地域の持続可能な発展につながることから、普及啓発並びに世界との架け橋を担っているところ。

2015年12月26日のUNWTOと日本観光振興協会の業務提携締結の様子（日本観光振興協会HPより）



2016/2017は
UNWTOが進める
「持続可能なツーリズム」元年



訪日外国人が次回日本でしたいこと

1位	日本食を食べること	59.3%
2位	ショッピング	48.9%
3位	自然・景勝地観光	43.5%
4位	温泉入浴	43.4%
5位	繁華街の街歩き	30.9%

観光庁「訪日外国人消費動向調査」（2015年版）より

日本の食とONSENはインバウンドにとってキラーコンテンツであり、地方で体験することができるものといえる。

ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構の設立



引用元 <http://travel.watch.impress.co.jp/>

一般社団法人ONSEN・ガストロノミー・ツーリズム推進機構の設立

2016年9月に一般社団法人ONSEN・ガストロノミー・ツーリズム推進機構の立ち上げが宣言された。

涌井史郎会長挨拶概要

○かつて「湯治場」と呼ばれていた地域が消滅することは大きな問題であり、インバウンドも含めて多くの人があらためて湯治の習慣に触れ、長期滞在してもらえるような交流が起きれば望ましい。

○日本でもその土地ならではのものを食べることが人間の健康にとって良いという考えを踏まえ、自然・食文化と接して、自分のストレスをマネジメントしていくことが日本の歴史にはある。

○将来、『温泉』が単なる日本語ではなく、こうした食文化を楽しみ、地域を称揚する日本人ならではのヘルスツーリズムとして『ONSEN』という国際語になっていく未来を描いていく。

記者会見の様子



目的

温泉と食をウォーキングで、歩いた目線で地域の食や景観、自然そのものを体感していく、そういった運動を推進していくことが目的であり、温泉地の価値を滞在型・体験型の観光の宿泊拠点へと転換させていき、日本のすばらしい食を通じたあらたな体験を、インバウンドを含めた観光客に提供し、地域交流を活性化していくことが本機構の目指すところ。

会 長	涌井 史郎	東京都市大学・特別教授
副会長	久保 成人	公益社団法人日本観光振興協会理事長
副会長	久保 征一郎	株式会社ぐるなび代表取締役社長
副会長	浜田 健一郎	株式会社ANA総合研究所シニアフェロー
理事長（代表理事）	見並 陽一	株式会社びゅうトラベルサービス顧問
専務理事	小川 正人	株式会社ANA総合研究所取締役会長
常務理事	本橋 勉	株式会社ぐるなび常務執行役員
理 事	阿部 宗広	一般財団法人自然公園財団専務理事
理 事	大西 倉雄	国民保養温泉地協議会会長（長門市長）
監 事	中村 慎一	公益社団法人日本観光振興協会国際交流推進室長



設立発起人

長門市長（国民保養温泉地協議会会長）：大西 倉雄(理事) 弟子屈町長：徳永 哲雄、
大館市長：福原 淳嗣、 会津若松市長：室井 照平、 別府市長：長野 恭紘、
竹田市長：首藤 勝次、 天草市長：中村 五木

特別協力 公益社団法人日本観光振興協会

設立時会員企業：株式会社ANA総合研究所、株式会社ぐるなび
事務局 株式会社ANA総合研究所（事務局長 野村達男）

※本機構立ち上げの記者会見には来賓として亀澤玲治 環境省自然環境局長が出席

【本機構の取組み】

➤ ONSEN・ガストロノミーウォーキングコースの認定及び情報発信

環境大臣指定の「国民保養温泉地」を中心に、温泉地を起点とし、その周辺の自然・歴史を歩き、地域の食を楽しむウォーキングコースを認定。

会員自治体は年1回のONSEN・ガストロノミーウォーキングイベントを実施。

次のステップとして温泉地ロングステイプログラムの開発アドバイス・普及に取り組む。

活動内容・情報の発信を積極的に行う。5年以内に100自治体の会員化を目指す。

➤ ONSEN騎士団（シュバリエ）の結成等、人材育成

ONSEN・ガストロノミー・ツーリズムの応援団として、個人会員組織を形成する。

会員は「ONSEN騎士団（シュバリエ）」※に任命。各種取り組みを通じて、活動の活性化を図り、人材育成応援、普及啓発活動に取り組む。

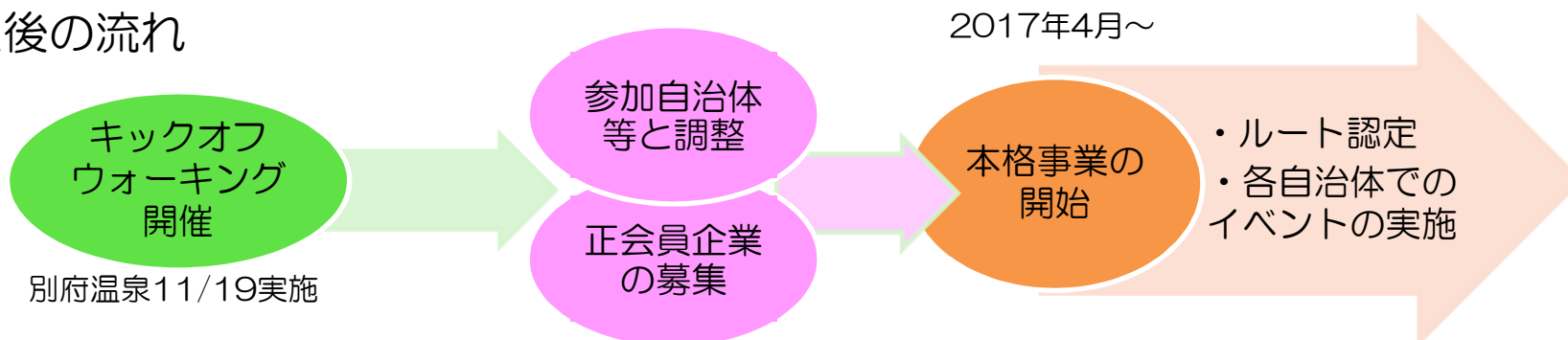
5年で3万人の会員を目標。

➤ 海外との提携

公益社団法人日本観光振興協会の協力を得て、UNWTOと連携し、海外の同様の自治体等との連携を行い、交流人口促進を図る。

将来的には世界大会の日本開催を目指す。

設立後の流れ





概要

- ・世界初となる「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」が2016年11月19日別府市海岸沿いで実施
- ・約300名(定員300人)の参加者が別府の自然・名産・温泉を満喫
- ・別府ONSENアカデミアという月間イベントの枠内で実施。
- ・予算:180万円(サイドイベント等への支払含)。お酒は地元酒蔵会社から無償提供

参加者の声

- ・海岸線をのんびり楽しみながら、おいしいものが食べられた。意外と量を食べていて驚いた(会社員、50代男性)
- ・自分の自治体では、どのようなコースにしようか参考になった。ストーリー性が大事。(自治体、30代男性)
- ・別府らしさを体験できるコースが必要と感じた(20代、女性)

砂蒸し湯
の横を通
過



地元婦人会提供の
「東山饅頭」



名物料理
で乾杯!



ANA・羽田オーケストラによる演奏



開会式の様子



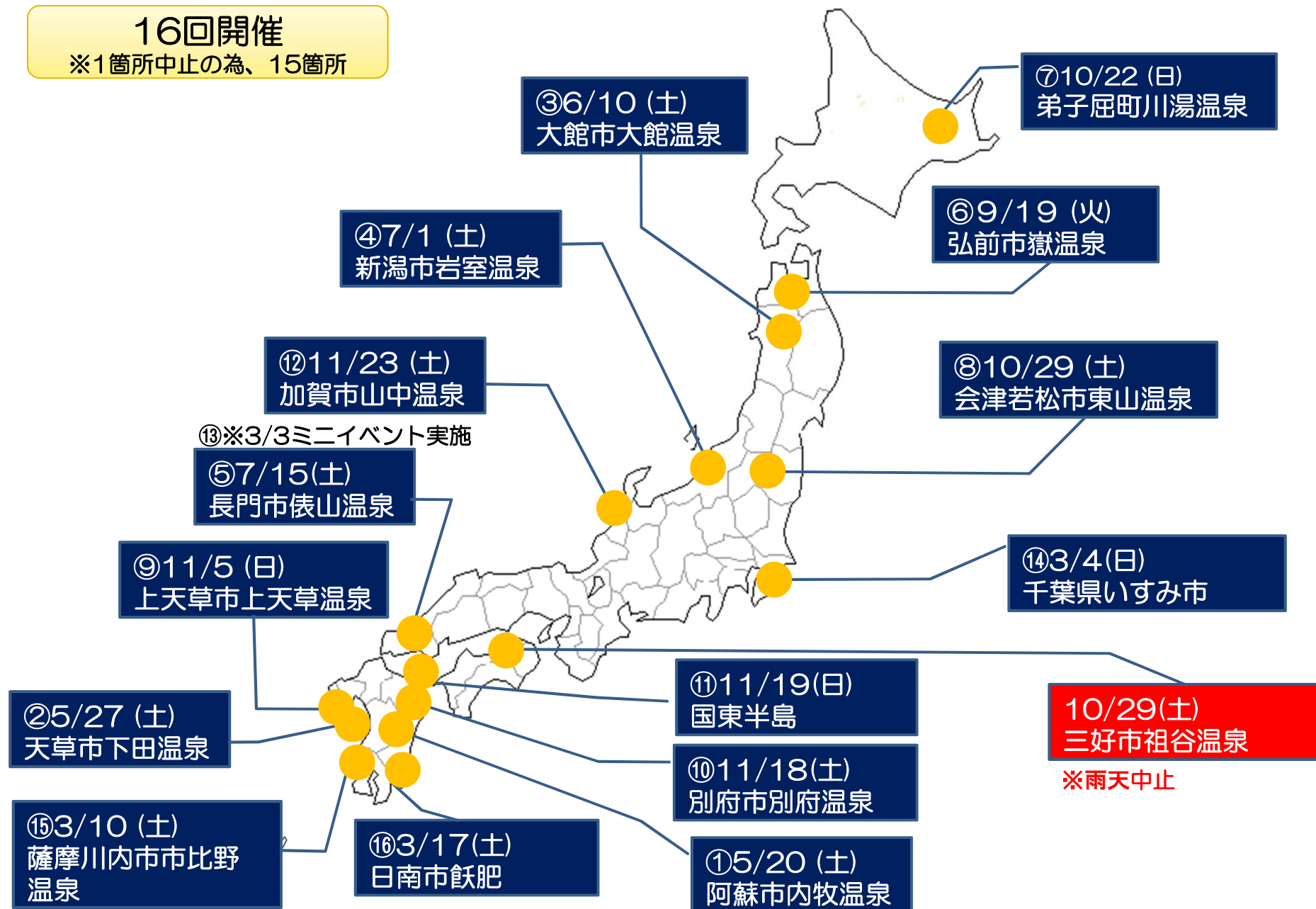


2017年度 ONSEN・ガストロノミーウォーキングイベント 実施報告



16回開催

※1箇所中止の為、15箇所



ONSEN・ガストロノミーウォーキング IN 別府温泉 2017年11月18日（土）大分県別府市



- ✓ 合計240名（定員300名）の方が参加。
- ✓ コース距離は約7キロ、ガストロノミーポイントは計10箇所
- ✓ 参加費3,000円
- ✓ 4回に分けてスタート
- ✓ スタート地点までバス移動



～ Gastronomy Menu ～

①湯けむりサイダー・温泉蒸したまご



②地獄蒸し玉子サンドイッチ



③かぼすハイボール・かぼす飲料・ざぼん漬



④地獄蒸し焼プリン



⑤地獄蒸し野菜セット・地酒類



⑥温泉コンフィチュールのカナッペ



⑦地獄蒸し手羽先・焼酎



⑧汽鍋料理



⑨地獄蒸し白米・角煮椎茸



ONSEN・ガストロノミーウォーキング IN 国東半島 2017年11月19日（土）大分県豊後高田市



- ✓ 限定30名の特別コース（WALKJAPAN代表ポール・クリスティ氏特別企画）
- ✓ ガストロノミーポイントは計6箇所
- ✓ 参加費5,000円



～ Gastronomy Menu ～

①みかん大福



②豊後高田そばと莊園米おにぎり



③椎茸の甘辛煮



④季節のスイーツ



⑤宝来袋

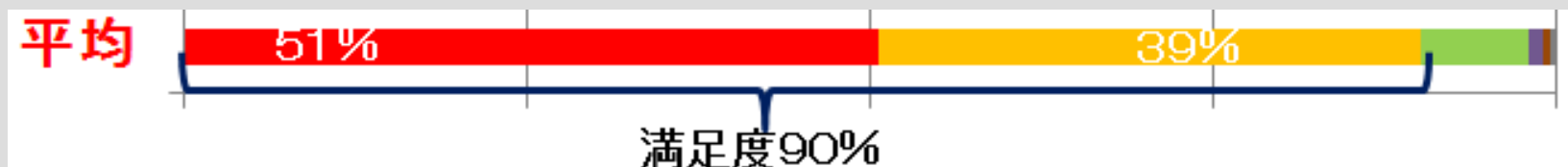


⑥だんご汁と焼酎



各地アンケート結果 満足度

■ イベント全体満足度 ■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ 大変不満 ■ 不明



■ ガストロノミー満足度 ■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ 大変不満 ■ 不明

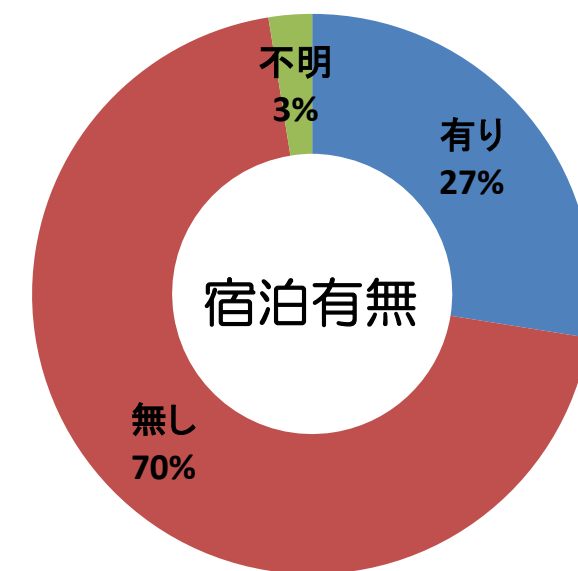
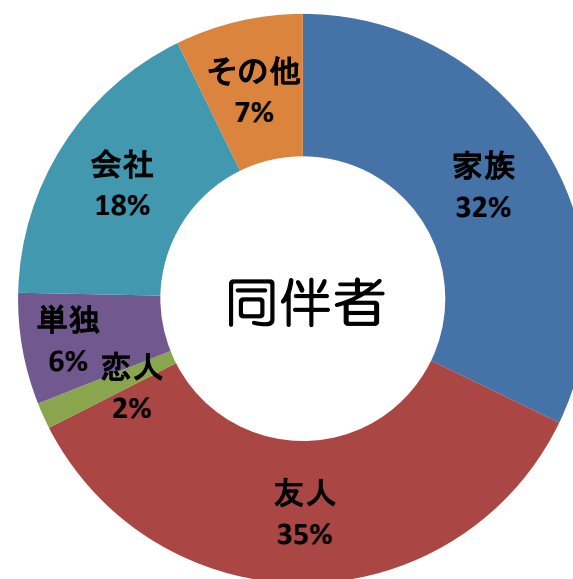
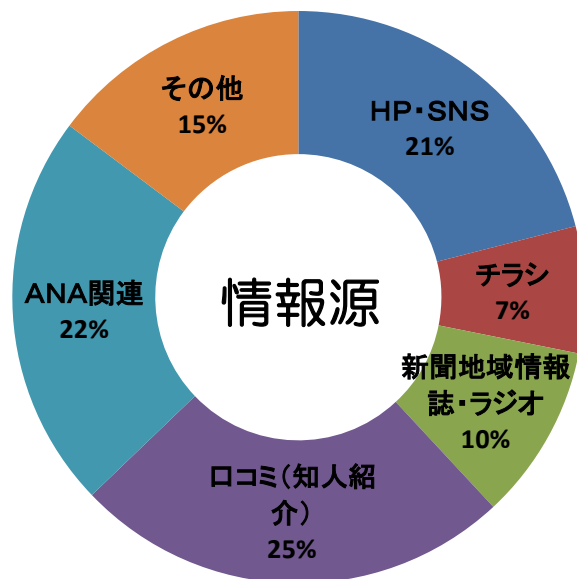
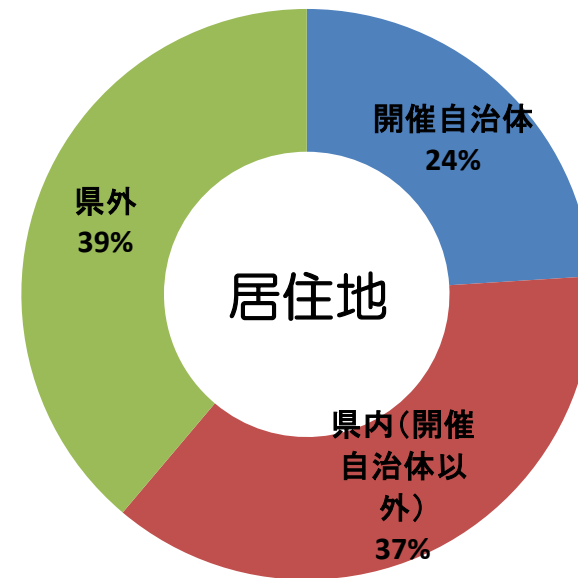
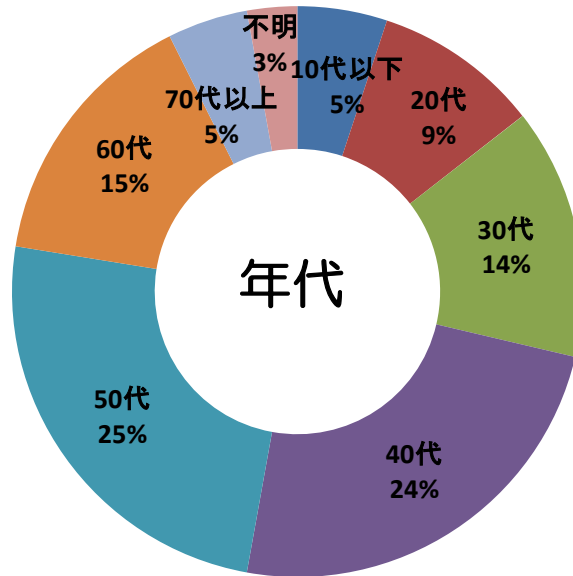
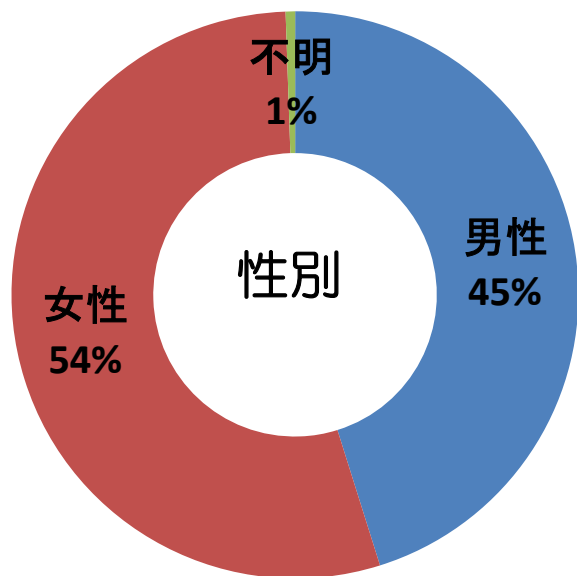


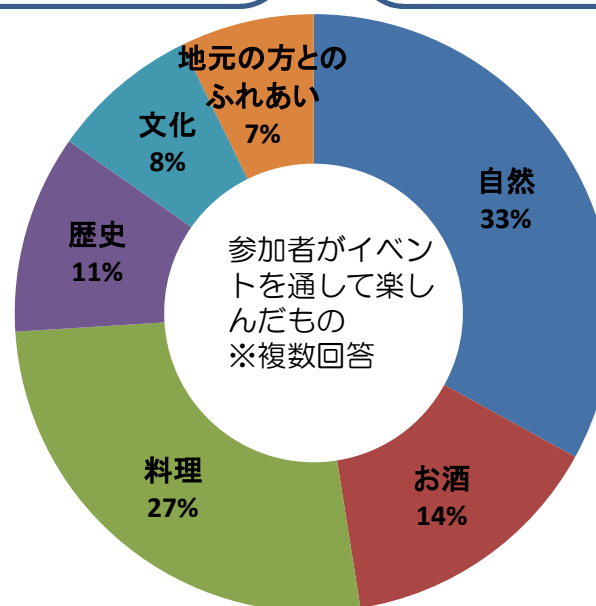
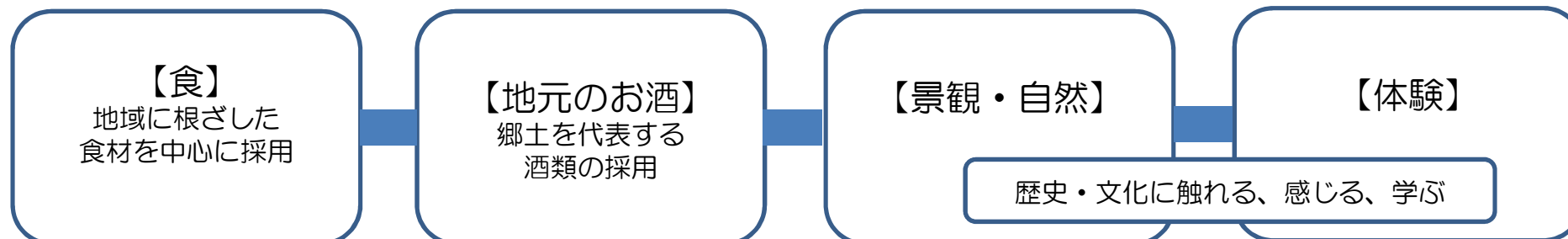
■ コース満足度

■ 大変満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ 大変不満 ■ 不明



アンケート結果 参加者 参加者層





※参加者アンケート結果より
※複数回答
※統計データ対象地はまだ限定箇所

参加者の皆さんは、このガストロノミーウォーキングを通して、地域の魅力を多面で感じ取り、楽しんで頂いております。
地域の皆さんが一体となり、その魅力をイベントを通して発信し、地域ブランディング力を高める取り組みを行っていただいております。

2018年1月～2019年3月 ONSEN・ガストロノミーウォーキングイベント計画書

■黒字＝決定 ■ピンク字＝暫定

2018.05.15

1月	2月	3月
		■3日(sat) 第2回山口県長門市俵山温泉 ■4日(sun) 第1回千葉県いすみ市 ■10日(sat) 第1回鹿児島県薩摩川内市市比野温泉 ■17日(sat) 第1回宮崎県日南市鉄肥
4月	5月	6月
■28日(sat) 第2回熊本県天草市下田温泉	■19日(sat) 第1回岐阜県高山市奥飛騨・平湯温泉 ■26日(sat) 第3回大分県別府市別府温泉 ■27日(sun) 第1回大分県中津耶馬溪	■3日(sun) 第2回熊本県阿蘇市内牧温泉 ■3日(sun) 第2回福島県会津若松市 ■9日(sat) 第2回秋田県大館市大館温泉郷 ■16日(sat) 第3回山口県長門市俵山温泉 ■23日(sat) 第1回北海道夕張市
7月	8月	9月
■中旬頃 フランスアルザス研修・視察旅行		■9日(sun) 第2回青森県弘前市嶽温泉 ■24日(祝・mon) 第1回三重県菰野町湯の山温泉 ■29日(sat) 第1回北海道稚内市
10月	11月	12月
■14日(sun) 第2回新潟県新潟市岩室温泉 ■14日(sun) 第2回北海道弟子屈町川湯温泉 ■28日(sun) 第1回徳島県三好市祖谷温泉	■4日(sun) 第2回熊本県上天草市上天草温泉 ■17日(sat) 第4回山口県長門市俵山 ■18日(sun) 第1回鳥取県湯梨浜町羽合温泉 ■下旬 第2回宮崎県日南市	
1月	2月	3月
■下旬 沖縄県うるま市		■10日(sun) 第2回千葉県いすみ市 ■中旬 第1回熊本県山鹿市山鹿温泉



専用の“マイカップ”を持って





“地域の方々”の笑顔に癒され





“若者”から元気をもらい





地元“ガイド”の説明で深く知り





“既存施設”を利用して





様々な“体験”もプラスして





地域の魅力を“再発見”

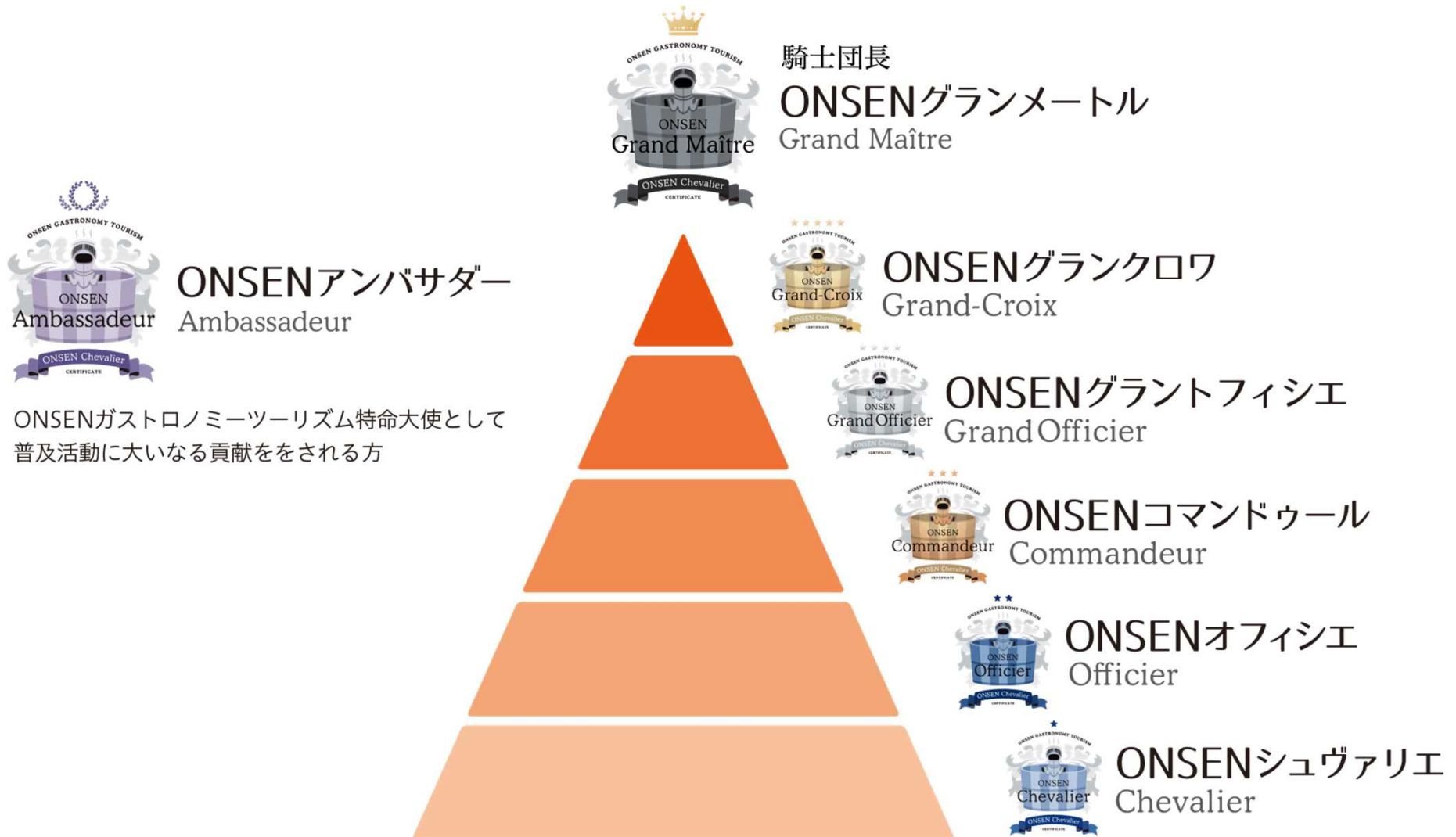


ONSEN・ガストロノミー・ツーリズム推進機構 個人会員組織

「ONSEN騎士団」



ONSEN騎士団 階層制度



上位を目指すために

温泉地をめぐる

ONSEN・ガストロノミー
ウォーキングに参加する

セミナーに参加する



etc etc...

ONSEN・ガストロノミーツーリズムの成果

成果(一例)

■ONSEN・ガストロノミーウォーキングイベントを実施するにあたり、地域の多様な方々が侃侃諤諤に議論をすることで、地元根付いた取組になっている。

■アンケート結果より、参加者の多くが、地域の方々とのふれあい、おもてなしに喜び、感動を得て、地域のファンになっている(リピーター、口コミによる期待増)。



ONSEN・ガストロノミーツーリズムの展開

今後の展開(一例)

- 毎週末、日本のどこかの温泉地でONSEN・ガストロノミーウォーキングが実施
- インバウンド観光客の誘致拡大
- 長期滞在プランの構築
- I、Uターンの増加
- 温泉地の活性化へ繋げていく



自然は人がつくる、人がはぐくむ、
温泉は人がつくる、人がはぐくむ
ガストロノミーツーリズムが地域再生の切り札





一般社団法人ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構
www.onsen-gastronomy.com

